

ベストピア第465号は月末掲載いたします。

パリ通信・第167号

ニース「マルク・シャガール国立美術館」

11月11日フランスは「第一次世界大戦(1914-1918)終戦記念日」である。

100万人の死者、400万人の負傷者、言い換えれば毎日900人の若いフランス人が戦場に消えていった恐ろしい大戦だった。成年男子が激減しその後の社会に大きな影響を与えた。

最近では丁度10年前2015年11月13日「パリ・バタ克蘭劇場」の無差別テロ事件が記憶に新しい。1500名を収容するバタ克蘭劇場内で二時間半に及ぶ機動隊との銃撃戦で130名が命を落とした。

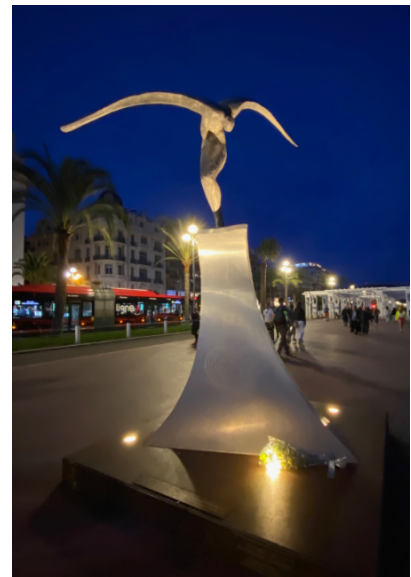


翌2016年7月14日にはニースのプロムナード・デ・アングレをトラックで暴走し86名の死者と458名の負傷者を出したテロ事件が起こった。戦争やテロで命を絶った人たちを悼む11月、ニースに出張し久しぶりにシミエの丘に建つ「マルク・シャガール国立美術館」を訪れた。(プロムナード・デ・アングレに立つ記念像「ニース湾の天使」(ジャン・マリー・フォンダカロ作))

(86名の犠牲者の名前が刻まれている)

<マルク・シャガール>

1887年7月7日現在のベラルーシにあるヴィテプスクのユダヤ人家庭に生まれ、1985年3月28日サン・ポール・ド・ヴァンスで死去するまでの98年を生きたシャガール。戦争やユダヤ人虐殺に苦しみながらも「愛」と「希望」と「夢」を描き続けた大切な画家である。1911年パリでドロネー、レジェ、スーチン、リプシッツ、モジリアニ、作家マックス・ジャコブ、アンドレ・サルモン、ギヨーム・アポリネールらと交友を結ぶ



が、1914年第一次世界大戦勃発を機に故郷ヴィテプスクに戻る。

1914年から1922年までは「ロシア時代」で1915年ベラと結婚、モスクワとサンペテルスブルグで活動。1923年再びパリに戻り、1935年ナチスから「廃退芸術家」のレッテルを貼られ、1937年フランス国籍を取得する。1941年ナチス占領下にあったフランスからニューヨークへ亡命。1941年から1947年の「アメリカ亡命時代」は戦争やユダヤ人民の不遇を色濃く反映する作品を描き、1944年ベラの急死に大きな悲しみを受ける。

1948年再びパリに戻り、1950年から南仏ヴァンスに移り住む。1952年ヴァランティエヌ・ブロッキーと再婚。ヴァンスに移り住んでからはステンドグラスや陶器、モザイク、タペストリー、リトグラフも手掛け、70歳を迎える1958年には大型制作の注文が相次ぎ、メッス、ランス、エルサレム、ニューヨーク国連事務所、チューリッヒのステンドグラス、パリ・オペラ座の天井画、ニューヨーク・メトロポリタン壁画が生まれる。



1952年から制作を始めた「聖書のメッセージ」作品群をシャガールはフランスに寄贈し、1973年「マルク・シャガール国立美術館」～聖書のメッセージ～が落成した。

「聖書のメッセージ」作品群は2部に分かれ、メインの展示室に12点の作品(創世記と出エジプト記)と隣接する六角形の小さな展示室に5点(「ソロモン雅歌」)を収めている。

シャガールは歌と踊りで表現する大衆ユダヤ教ハシデイズムの信心深い家庭に育ち、信仰が大きく失われた20世紀においても画家として神の使いを努めようとしたのである。シャガール自ら作品展示の配置を決め、

「人類の創造」(1956-1958年、300x200 cm)を作品群の始まりとした。天を描いた黄色と地上・大洋の青の対比、回転する太陽の原色系の色彩、人類以前に創られた動物たち、第二世界大戦で犠牲になったユダヤ人民

を象徴する磔刑、シャガール宗教絵画の頂点にある作品群で「人類の創造」「楽園」「楽園を追放されるアダムとエヴァ」「ノアの方舟」「ノアと虹」「アブラハムと三天使」→

「イサクの犠牲」「ヤコブの夢」「ヤコブと天使の闘い」「モーセと燃える茨」「岩を打つモーセ」「律法の石版を受け取るモーセ」の12点である。シャガール天性の色が語りかけてくる聖書のメッセージは見る人の心を強く捉える。1973年7月7日美術館落成式時のシャガールの挨拶文を一部引用したい。



イサクの犠牲 ↓



「若い頃から聖書に魅せられてきました。いつの時代であっても聖書は最も豊かな詩情の源だと思ってきましたし、今もそう思います。私はずっと人生と芸術の中にその反映を求めて来ました。聖書は自然の共鳴の如くであり、私はそこに秘められたものを伝えようとしたのです。(中略)人々が心の安らぎ、精神性、信仰心、人生の意味を見出せるようにこれらの作品をこの地に残しておきたいのです。(中略)すべての命は終焉に至らざるを得ないのであれば、私たちの命がある限り、その命を愛と希望の色に塗っていかなければならないのです。」

(文・写真・古賀順子)



追放されるアダムとエバ